

平成24年度地球環境基金プロジェクト
ESDを活用した北陸における生物多様性保護等の推進事業

地域資源の活用による持続可能な社会づくり ～ 呉羽丘陵から身近な自然環境を考える ～

日時 平成25年 1月27日(日)
13:00～16:00

場所 富山市ファミリーパーク
自然体験センター1階ホール

定員 100名 入場無料

プログラム

- 13:00 開会 あいさつ
富山ESD講座委員会 委員長 松本 謙一 氏
富山ESD推進員
富山市教育委員会 教員部 麻富 裕之 氏
- 13:10 基調講演(Ⅰ)
テーマ 地域の魅力再発見
～赤トンボを通して見えるものは～
講師 前園 泰徳 氏
福井県富山市 環境保全推進コーディネーター
- 13:55 基調講演(Ⅱ)
テーマ 未定(ファミリーパークの新整備計画と呉羽丘陵での環境未来都市政策をテーマにした講演)
講師 山本 茂行 氏
富山市ファミリーパーク 園長
- 14:20 休憩
- 14:30 事例報告、意見交換、質疑応答
テーマ 呉羽丘陵の地域資源を活用した環境教育
司会 環境教育ネットワークとやまエコひろば代表
本田 孝子 氏
発表者 富山市ファミリーパーク 参事
中野 康美 氏
富山市科学博物館 学芸課主幹学芸員
太田 道人 氏
富山市立古沢小学校 教諭
城石 寛子 氏
「悠久の森」総合プロデューサー
小林 福治 氏
アドバイザー
福井県富山市 環境保全推進コーディネーター
前園 泰徳 氏
富山市ファミリーパーク 園長
山本 茂行 氏
- 15:50 閉会 あいさつ
一般財団法人大学コンソーシアム石川
鈴木 亮徳 氏(富山大学教授)

ESD富山シンポジウム

我が国の提唱による「国連持続可能な開発のための教育の10年」に基づき、初等中等教育におけるユネスコスクールをはじめとして、皆が安心して安全に暮らせる持続可能な社会づくりのための教育(ESD)が全国的に進められています。

本シンポジウムは、北陸地域、特に富山県内の人たちへ、ESDの普及啓発を目的としています。呉羽丘陵の里山を題材として、身近な里山に住む生き物たちの話や生き物探検などを通して、持続可能な社会づくりをどのように進めるかを考えます。

【展示公開】
会場内

科学博物館、ユネスコスクール各校のESDへの取り組み及び、
くれば悠久の森事業の資料を展示



申込先

富山市教育委員会学校教育課内「富山ESD講座委員会事務局」〒930-8510 富山市新桜町7-38
E-mail gakkoukyoiku-01@city.toyama.lg.jp TEL 076-443-2135/FAX 076-431-6176

- 主催：一般財団法人大学コンソーシアム石川、富山ESD講座委員会
- 共催：富山市ファミリーパーク、富山市、富山市教育委員会
- 後援：富山県教育委員会、公益社団法人日本動物園水族館協会

出演者 紹介

基調講演 (I)

前園 泰徳 氏

福井県勝山市環境保全推進
コーディネーター

東京大学大学院農学生
命科学研究科博士課程
修了、九州大学大学院、
京都大学大学院。
奄美大島龍郷町(たつご
ちょう)にて日本でただ
1人、行政が配置した環
境教育専門の教員とし
てDEEP AMAMIという環境教育プロジェクトを
現職。
その経験を活かし、勝山の魅力やESD/環境教育の
様子を伝えている。



基調講演 (II)

山本 茂行 氏

富山市ファミリーパーク
園長

1950年、富山県生まれ。
高岡高校を経て立命館
大学(中退)
1982年、富山市ファミ
リパーク建設計画へ
の参画と北アルプスの
雄大さに惹かれ、富山に
戻る。郷土の動物に力を
入れた動物園作りに取り組む。現在は、動物園事業
だけでなく地域に根ざした事業や里山をテーマに
した取り組みにも力を注いでいる。2005年当園長
となる。2010年6月より社団法人日本動物園水族
館協会(現 公益社団法人日本動物園水族館協会)の
会長に就任。



意見交換会



司 会
本田 恭子 氏
環境教育ネットワークとやま
エコひろば代表



事例報告者
中野 康英 氏
富山市ファミリーパーク
参加



事例報告者
太田 道人 氏
富山市科学博物館
学芸課主幹学芸員



事例報告者
城石 寛子 氏
富山市立古沢小学校
教諭



事例報告者
小林 福治 氏
「思ふの森」
総合プロデューサー

参加申込書 (宛先) 富山市教育委員会学校教育課内「富山ESD講座委員会事務局」(締切) 平成25年1月22日(火)

氏 名	
所 属	

※電話またはFAX、メールでお申し込みください。